

文化芸術推進会議（第1回）議事要旨

日 時：平成29年11月10日（金）11:00-11:30

場 所：文部科学省11階 省議室

出席者：林文部科学大臣

住田内閣府知的財産戦略推進事務局長

奈良総務省大臣官房審議官（情報流通行政局担当）

宮川外務省大臣官房国際文化交流審議官

中川文部科学省大臣官房総括審議官

宮田文化庁長官

中岡文化庁次長

成田厚生労働省大臣官房審議官

宮寄厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長

丸山農林水産省大臣官房審議官

藤木経済産業省商務・サービス審議官

由木国土交通省総合政策局長

米村観光庁観光地域振興部長

米谷環境省大臣官房審議官

議 題：(1) 文化芸術推進会議の設置について

(2) 文化芸術推進基本計画の策定に向けた検討について

(3) その他

概 要：

- 冒頭、林文部科学大臣及び宮田文化長官より挨拶があった。
- 議題1について、資料1が諮られ、同日付の関係府省庁申合せとすることについて了承された。
- 議題2について、文化庁より、資料2に基づき説明が行われた後、討議が行われた。討議の概要は以下のとおり。

（内閣府）内閣府においては、クールジャパン戦略を文化芸術の一つとして推進している。冒頭の宮田文化庁長官のお話にあった「文化で稼ぐ」について考えた場合、日本の文化芸術について外国人がどのように考えているかなど、外からの目線が重要。外からの目線で見ると、日本文化の本質が見えてくる場合がある。

また、日本文化を海外発信する際は、日本の文化芸術について何も説明を加えずに見せるのではなく、ストーリー性を語る事が重要。

（文化庁長官）全く同感。文化芸術の本質を伝えようとする事を意識しなければならない。オリパラを契機に、実行していきたい。

（中岡文化庁次長）その点については文化審議会においても引き続き議論していただきたいと考えている。
- 次回については、文化審議会答申が出された後、2～3月頃を予定している旨文化庁から説明があり、議事は終了した。

以上